

第 23 回ブラッシュアップ研修会のご案内

日時:2016年1月23日(土)研修会14:30~ 無料

交流会18:00~ 参加費 2000 円(学生会員は無料)

1. 卒業生講演:菊山 紀彦氏(金属)39卒 (元種子島宇宙センター所長)

2. 在校生講演:FNFP(学生フォーミュラ)植松亮裕氏、本田 進氏

3. 教員講演:横浜国大理工学部 酒井 清吾准教授

場所:かながわ労働プラザ 第5・6会議室 JR 石川町北口下車徒歩 3 分

電車でご来館の場合



1. 菊山紀彦氏講演

演題: ここまで来た日本の宇宙開発

日本人宇宙飛行士 国際宇宙ステーションで活躍

講師略歴: 1964 横浜国立大学工学部金属工学科卒業

1966 東北大学大学院 金属材料修士課程修了、

日本原子力研究所入所、原子炉用金属材料の研究に従事

原子力学会技術賞、科学技術庁長官注目発明賞受賞

1974 米国ペンシルバニア大学へ一年間留学

1985 宇宙開発事業団に移る

1991 種子島宇宙センター 次長

1995 筑波宇宙センター 所長

1997 宇宙開発事業団 特任参事

1999 宇宙開発事業団 招聘研究員

2003 宇宙航空研究開発機構 主任研究員

2004 宇宙航空研究開発機構を退任

宇宙アカデミー きくやま 代表

2012 科学技術功労者として茨城県より表彰

著書 宇宙飛行士になるための本

宇宙生活読本

教科書 小学校5年社会科「環境」

この一冊で宇宙の不思議がわかる本

講演概要: “1989 年のベルリンの壁崩壊をきっかけにソ連が崩壊し、冷戦は終結した。1998 年から米国とロシア、日本、カナダなど世界 15 カ国が参加する「国際宇宙ステーション(ISS)」の建造が開始され、2000 年から宇宙飛行士の6ヶ月間の長期滞在が開始された。日本は ISS に実験室「きぼう」を提供している。ISS での日本人宇宙飛行士の長期滞在は、2009 年の若田光一宇宙飛行士から始まり、続いて2009年に野口聡一宇宙飛行士、2011年に古川聡宇宙飛行士、2012年に星出彰彦宇宙飛行士、2013年に若田光一宇宙飛行士、2015年に油井亀美也宇宙飛行士が滞在した。若田光一宇宙飛行士は2度目の長期滞在の後半の3ヶ月間は船長として大役を果たした。ISSへの物資の輸送でも日本は大型無人宇宙船「こうのとり」で大きな役割を担っている。「こうのとり」の打ち上げは日本の大型ロケット「HⅡB」で行われ、2015年までに5回の打ち上げが行われている。

2. 横浜国大学生フォーミュラ活動報告

演題: YNFP-16に託す想い

講師略歴: 植松亮裕氏 YNFP-16プロジェクトリーダー

本田 進氏 YNFP-16 テクニカルディレクタ

講演概要: "・YNFP-16 のあり方(意義・目標)

・YNFP-16 マシンについて(コンセプト・開発プロセス)

・活動報告

3. 酒井清吾准教授講演

演題: ふく射伝熱という研究に触れてみて

講師略歴: 1995年 東京大学工学系研究科システム量子工学専攻 修士課程修了

1998年 東京大学工学系研究科システム量子工学専攻 博士課程修了

(博士(工学))

1998~2000年 川崎重工業株式会社 関東技術研究所・研究員

2000~2004年 東北大学 流体科学研究所助手

2004~2005年 横浜国立大学大学院 工学研究院

2005~2007年 横浜国立大学大学院 工学研究院

2007年~現在 横浜国立大学大学院 工学研究院 システムの創生部門・

准教授"

講演概要: ふく射は、人類が火という道具を使い始めて積極的に利用する前から、

太陽からの光を体感してきたように、身近にある熱移動現象です。

最近では、地球上の環境問題の最たるものとして地球温暖化が挙げられて

おり、これも太陽からの熱を地球が吸収・再放射する際のバランスが崩れ

ていることが理由として考えられています。ふく射伝熱は身の周りにありな

がらも、時として忘れてしまいそうな現象ですが、理工学の分野では重要な

役割を果たしており、不思議なこと・面白いことが色々あります。

ふく射伝熱という研究に出会って 15 年程経ちますので、その中で思ったこ

と、感じたことなどをお話できればと思います。"

お願い事項:

交流会参加人数を把握のため、交流会に参加希望される方は、事前に同窓会事務局に E-Mail にてご連絡をお願い致します。

また、当日、同窓会活動の活性化のために、カンパ(500円程度)をお願い出来れば幸いです。

連絡先:

横浜国立大学名教就美会(旧生産工学科同窓会)事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号

横浜国立大学 理工学部機械工学・材料系学科内

E-Mail : doso-m@ynu.ac.jp

Tel: 045-339-3916、 Fax: 045-339-3916

担当: 森本